

# 繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

「足摺を眺めて」  
画 池田澄子（佐岡分教会ようぼく）



（表紙の絵やイラストの  
提供を募集しています）

「何もない」場所に未来はあるのか。

「繁藤はド田舎で何もないよね」

何度もそう言われてきたし、私自身もそう思っていた。

先月、繁藤地域の住民を対象として、ある意見交換会が開かれた。テーマは「繁藤にある保育園、小学校、中学校の存続について」だった。現在、いずれも休園、休校中である。今後、児童数が増える見込みもなく、正式に廃校にして土地建物の有効活用を検討してはどうか、ということ地域住民の声を聞くことが今回の会合の目的である。

私が子どもの頃の繁藤小学校は全校生徒が21人。繁藤中学校にいたっては全部で8人だった。まさに社会科の教科書に出てくるような過疎化の地域だ。興味のある方はGoogleマップで「天理教繁藤大教会」と検索し、航空写真モードで見えてみてほしい。よくこんな田舎に大教会ができたな、とよく言われる。（笑）

繁藤小学校の歴史は古く、明治27年（1894年）の設立である。昨年、繁藤大教会は創立130周年を迎えたが、教会設立のわずか2年後だ。しかし、先述したとおり、平成25年をもって119年続いた繁藤小学校は休校となった。来春から小学生になる娘を持つ親として、またこの先

もこの場所で教会活動をしていく会長としても、あらためて考えさせられる、というか向き合わないといけない現実であった。

130年、7代にわたって続いてきた教会もあれば、その幕を下ろす学校もある。この違いは何か。もちろん私の思いとしては、この先も子や孫、末代にわたって続いていく教会、信仰を目指したいと思っている。



繁藤小中学校 最後の卒業式

「この先ずっと残るものってなんだろう？」

と考えてみた。生き残っていくためには今、何が求められるのか。時代に即したカタチとはなにか。5年後、10年後の世の中はどうなっているのか。はじめ、そう考えた先にある答えを私は求めた。しかし、これはまったくの徒労だった。どんなに考えたところで分かるわけではない、未来のことなんて。

そこで逆の発想を試してみた。そもそも宗教において大切なのは普遍性ではないだろうか。普遍性、つまりどんな時代や場所においても通じる性質のことである。この視点に立ったとき、見るべきは「未来」ではなく「過去」である。しかも去年や一昨年の過去ではなく、10年、50年、100年レベルでの過去だ。

あらためて、「何もない」と思っていた繁藤に対して、真正面から「何が無いのか」を考えてみた。

確かに最寄りのコンビニまでは車で20分近くかかる。昔は商店や居酒屋、映画館まであったらしいが、もちろん今はあるはずもない。ましてや学校までもなくなってしまう。車がないと生活できないし、正直、不便なことを挙げるとキリがない。

しかし、この先100年続く信仰をつくっていくために必要なことなのか。むしろ、消費や刺激といったモノ・コトとは一線を画した、他にはない価値の方が重要になってくるかもしれない。不便だと思っていたことさえ、強みになりえるかもしれない。

春になれば山菜を味わい、夏になれば川で鮎をとり、秋になれば棚田に稲穂が実り、冬になれば高知でも毎年雪が降るほど寒い夜には満点の星空がきらめく。そうやって全身で花鳥風月を感じることができる。

決して田舎暮らしを推奨したいわけではない。抽象度を上げると、この考え方は、単に田舎のことに留まる話ではない。私やあなたが「何もない、価値がない」と思っていることは、ただ見えていないだけ、気づいていなかっただけではないのか。魅力がないと思っていたものも、光の当て方を変えてみると、色鮮やかに輝き出すかもしれない。

正直、繁藤に学校が復活する望みは今のところ薄いだろう。ただ考えてみれば、大きな意味では天理教の教会も同じ人を育てる場所ともいえる。親神様の火水風の御守護を体感しながら、心を澄ます修養の場。そして天理教の使命である「人たすけ」の人材を育成する場として、この土地の特性を活かし、明るい繁藤の未来をつくることができるかもしれない。今、私の夢は膨らんでいく一方だ。

さて、気づけば早くも師走。そして12月21日は納めの月次祭だ。前日の晩には、久しぶりに教会で忘年会を開こうと思う。うちで飼っている土佐地鶏と、しげとう産のゆずで鍋を皆で囲む予定だ。「何もない」こんなド田舎でよければ、ぜひ足を運んでもらいたい。

立教百八十六年十二月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男



黄金に輝く大教会の田んぼ



今年はゆずが豊作だった

【神殿講話】

(十二月) 空閑 一将

【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(十二月) 安部 道郎

【教会長神殿当番】

(十二月) 百生・角野・城幡

立教百八十七年

(一月) 紋湧・紋膽・膽澤

【詰所教養掛】

(十二月) 坂本 久徳

立教百八十七年

(一月) 空閑 慶吾

【ひのきしん】

○婦人会詰所ひのきしん

十二月二十五日～二十六日 (高杉)

【五季づとめ】

十二月は五季づとめの月でございますので、左記の通り上級を通じてお納め下さいますようお願い申し上げます。

記

一、五季づとめ 三、〇〇〇円

一、御神酒料 三〇〇円

一、御鏡料 一、〇〇〇円

合計 《四三〇〇円》

※昨年と金額が変更になっておりますので、ご注意ください。

【主教百八十六年十一月 祭文】

これの繁藤大教会の神存にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。おふでさきに、

「にんけんをはじめたしたるのをやハ、せんめをでいるこれがまことや(第八号三七)とお示し下さるる様に、親神様は教祖を月日のやしんとしてこの世の表にお現れになり、元初りの真実を明かされ、だめの御教えをお啓き下さいました。そして教祖は子供の成人を促すべく現身をお隠しになられてからもなお、存命のまま元のやしきに留まて私たちをお導き下さり、世界たすけの上にお働き下さっています。親神様の十全の御守護はもちろんのこと、どんなときも我々よぶべく深く温かい親心をもつてお導き下さいます。存命の教祖の御慈愛の程は、誠に有り難く勿体ない極みでございます。

私共は、きやの思いに添い切らせて頂けるよう、教祖のひながたを胸に、日々たすけ一条の御用に励ませて頂いておりますが、その中にも今日の良き日は、これの繁藤大教会に御許し頂いております月々の御祭日でございますので、只今からおつとめ奉仕者一同心を揃え、陽気に座りづとめてをどりを勤めて十一月の月次祭を執り行わせて頂きます。御前には、今日を樂しみに寄り集ったよぶべく、信者たちが共に朗らかにおうたを唱和し、日頃賜る御恵に御礼申し上げ、よろづたすけを願ひひとつ心にとめを拝す状を御覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

また本日は月次祭に合わせ、天理教三昧田分教会の前川いづよ先生に御巡教頂き、おつとめ後に御講話を頂戴いたします。繁藤につながるお互いは御講話をしっかりと拝聴し、存命の教祖の御心に溶け込んで、素直に人だすけに励ませて頂く決意を新たにいたしたいと存じます。

何卒、親神様には私共のこの心定めをお受取り下さいまして、この上共に、よろづたすけに自由の御守護を賜り、世界ろくぢのお言葉通り、世界一れつが争いも高低もない、神人和樂の陽気ぐらしの世の状へとお導き下さいますよう御守護の程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十六年 十一月 祭典役割》

祭主	指図方	扨者	扨者	賛者	男		女		地方	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	神殿講話					
					座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半																	
大教会長	坂本久徳	田村久徳	佐藤成彦	佐々木 恵	空閑慶吾	大教会長	前大教会長	田村辰久	前会長夫人	黒石伸子	宮田孝道	藤田一憲	佐藤成彦	村上英士	坂本久徳	佐藤栄治	為田紀久男	藤田憲明	田村久徳	佐藤文代	藤田洋美	佐藤順子	前川いづよ先生	
安部道郎	立花真一郎	佐々木 恵	前田 豊	田村省悟	空閑慶吾	為田基紀	宇山基紀	伊藤正福	坂本喜子	田村睦美	武市まち子	安部道郎	田村聡佐	村上由高	空閑一教	空閑一将	佐藤節幸	秋月真一郎	空閑慶吾	空閑 都	秋月孝子	為田賢子	つよ先生	
						てをどり後半	土居道久	宮田教一	田村純代	佐藤明子	空閑真理代	立花真一郎	黒河明大	秋月英希	藤田 誠	村上 修	前田 豊	立花孝一	黒石忠宏	藤田善典	村上 綾	田村育与	宮田みなみ	

### 【繁藤大教会おたすけ推進の集い】

来年、1月20日に年頭の集いに変えまして「繁藤大教会おたすけ推進の集い」を開催させていただきます。詳細は最終項に記載してありますので、大勢の方にご参加頂けますようよろしくお願い致します。

### 【心定め提出のお願い】

各教会には、先月の月報に来年の心定め用の紙を同封しておりました。メ切は11月20日とさせて頂いておりましたが、まだご提出頂けていない教会は、恐れ入りますが早急にご提出の程をお願い申し上げます。

### 【詰所活用委員会】

来年1月5日～7日までおちばにおいて「お節会」が、通常通り開催されます。それに先立ちまして、今月25日正午より詰所にて、ご本部お供用のお餅をつかせて頂きます。大勢の方でつとめさせて頂きたいと思っておりますので、ひのきしん頂けます方は、お手伝いの程よろしくお願い致します。

### 【教会支援部より】

▽大教会年祭活動の一つとして各教会には「仕切り月」を定めて頂きましたが、本年既に勤めて頂いた教会は、報告書をご提出下さいますようお願い致します。又、来年は仕切り

り月にあわせて大教会巡教を行うこととなりました。日程調整の為11月月報同封の別紙にご提出いただきますようお願い致します。

▽「部内教会略史」の更新について  
大教会広報・史料部では、大教会百周年に発行した「繁藤大教会年譜表と写真集」続編の作成に取りかかっています。つきましては、別紙ご参照の上、ご協力下さいますようよろしくお願い致します。

### 【婦人会】

### ◎こかん様に続く会

去る11月25日、詰所において女子青年行事「こかん様に続く会」を開催しました。

当日は、こかん様のお話を聞いたのち、ご本部へお参拝し、回廊の溝掃除をさせていただきました。

また昼食としてタコスパーティーを開き、その後お楽しみ行事をするなど、久しぶりに集まった仲間との楽しい時間を過ごしました。



### 【青年会】

去る、11月25日日本部中庭にて青年会総会が開催されました。例年は10月ですが今年は1月遅らせて土曜日の開催ということもあり、大勢の青年会員さんが参加して下さいました。後夜祭も女子青年さんにもお手伝い頂き賑やかにつとめさせて頂かせて頂きました。有り難うございました。



### 【学生会】

学生生徒修養会の「大学の部」が、3月4日～8日まで、「高校卒業生コース」が、3月10日～12日までの日程で開催されます。対象になります学生さんにお声掛けの程、よろしくお願い致します。

下記のQRコード・URLより、詳細がご覧頂けます。



<https://happist.net>

### 【初席者（10月）】

大教会 坂本 佳唯

## 「繁藤大教会おたすけ推進の集い」

年祭活動2年目にあたり、御本部より来年1月から4月までの間に各直属で「教祖百四十年祭教会長夫妻おたすけ推進の集い」の開催することとお声を頂きました。

就きましては、繁藤大教会では毎年1月恒例の「年頭の集い」にかえて「繁藤大教会おたすけ推進の集い」を開催させていただきます。

繁藤につながる私たちが道の先達として年祭活動第2年目にあたり、たすけ一条の歩みを一層進めるさせていただきたいと存じます。

対象の方は、万障お繰り合わせの上、是非、ご参加をお願い致します。

### 記

日 時	令和6年1月20日 午後2時開始 (午後1時30分より受付) 午後5時20分まで
場 所	繁藤大教会 4階 大広間
参加御供	1,000円
参加対象者	教会長夫妻・在籍者・布教所長 各教会長の推薦する者

教祖140年祭 三年千日の活動方針

# 明日に希望を、 今日を陽気に

～ひながたを心に、プラスワンの誠真実を～

## 実践目標

教会に人をお連れし、たすかる道を伝えよう  
誠の理を、日々に働かそう  
おさづけの取り次ぎ、チラシ配りの推奨  
天理カードの登録推奨（目標 10,000 人）

教えに親しみ、ひながたを心の頼りに明るく歩もう  
信者の葉を毎日拝読する  
ご守護に気づき、身近な人に信仰を伝えよう  
お道と社会に貢献できるようほくを育てよう

ふしから芽が出るご守護をいただこう  
心を定め、日々の理づくり・徳積みに励もう  
「声は肥」旬を外さないよう+1の声かけを  
月次祭を賑やかに勤めよう（仕切り月の実施）



繁藤公式 LINE で講話やブログなどを配信しています。  
ぜひご登録ならびにご紹介をお願いします。



天理教繁藤大教会  
SHIGETO